

## 原子力リスク研究センター (NRRC) 第 32 回 技術会議 議事録

1. 日 時：2020 年 12 月 3 日（木）10：00～12：00
2. 場 所：Web 会議（電力中央研究所 原子力リスク研究センター 会議室）
3. 出席者（順不同、敬称略）
  - 主査： 植田 (NRRC)
  - 委員： 田口 (牧野代理：北海道電力)、金澤 (東北電力)、  
谷・村野・山本 (東京電力HD)、伊原・浜田・梅木 (中川代理：中部電力)、  
福村 (北陸電力)、宮田・多田・吉原 (関西電力)、  
山本 (中国電力)、中川 (渡辺代理：四国電力)、本田 (九州電力)、  
山口 (日本原電)、大柿 (日本原燃)、石倉 (電源開発)、  
河村 (東芝)、滝井 (日立GE)、池田 (三菱重工)、中熊 (電事連)、  
小澤 (電工会)、西村 (倉田代理：原安進)、示野 (ATENA)  
高橋・古田・朝岡・西・岩島・喜多・稲田・山本 (NRRC)

### 4. 議事概要

#### (1) 2021 年度研究計画案について

○NRRC より、2021 年度研究計画案として、「リスクコミュニケーションに関する研究の進捗状況」、「機器配管フラジリティ研究の高度化」等について報告がなされた。

(主なコメント ◆外部委員、◇電中研委員)

- ◆今まさにコロナの影響を受けて、ゼロリスクはないという認識が社会に広がっている中で、これについて今後のリスクコミュニケーション研究に生かすようなファクトがあるのか。
- ◇ゼロリスクという観点では、今まで私どもが実施した対話実験では、ゼロリスクはないことを理解している方が半分位、やはりゼロリスクでない嫌だという方は一定数いらっしゃるということである。コロナ禍の中で不確実さが大きくなってきたので、このコロナみたいなものを例え話にすることによって、ゼロリスクはないということを間接的に説明することも、今後の研究で検討していきたい。

#### (2) NRRC の活動状況について

○NRRC より、RIDM チームの活動状況について報告がなされた。

- ◆最近、NRRC の極端気象影響評価ユニットの協力を得て竜巻 PRA を整備した。若手が 2 カ月位でそこそこ使えるようなものを実現できたということで、ご協力頂き御礼申し上げます。同時に、EPRI の 6 週間コースの修了者でもあったので、そういった面でも有効だったと思っている。その意味ではスピード感をもって適用できる

ように PRA のモデル化や研究をお願いしたい。

以上